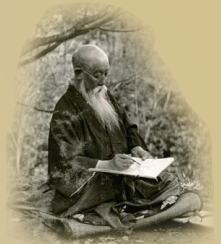


「学者如登山」
伊那弥生ヶ丘高校 蔵

上伊那図書館開館に際し、
秀敏より寄贈された六曲一双屏風
「富嶽と三保の松原」



写生にいそむ池上秀敏画伯

池上秀敏生誕150年展 開催情報

- 伊那市立高遠町歴史博物館
令和6年2月23日(金・祝)～6月16日(日)
- 信州高遠美術館
令和6年3月2日(土)～5月19日(日)
- 練馬区立美術館
令和6年3月16日(土)～4月21日(日)
- 長野県伊那文化会館
令和6年3月30日(土)～5月12日(日)
- 長野県立美術館
令和6年5月25日(土)～6月30日(日)

●秀敏カード、配ります。

長野県伊那文化会館、高遠町歴史博物館、伊那市創造館、信州高遠美術館では、それぞれの館の展示期間中、池上秀敏と作品を紹介するカードを配布します。4枚コンプリートした方には景品を贈呈します。



伊那・高遠との交流を中心に
 令和六年三月十六日(土)～五月二十七日(月)
 伊那市創造館二階企画展示室
 午前10時～午後5時(最終入場は四時四十五分)
 入場無料 休館日 毎週火曜・三月二十一日(木)

伊那市創造館 第三十一回企画展 池上秀敏生誕一五〇年記念展

○池上秀敏(いけがみしゅうほ 1874～1944)は、高遠町出身の日本画家です。明治から昭和にかけて、特に花鳥画を得意とし、日本画壇の中心人物のひとりとして活躍しました。

高遠藩御用達の紙問屋の次男として生まれた秀敏ですが、祖父 池上休柳(きゅうりゅう)、父 池上秀花(しゅうか)両者とも本格的に絵を学び、俳句や短歌、茶道や華道にも秀でていたという文化的な環境にあったことから、絵の描き方を自然に覚えることとなりました。

明治22(1889)年、15歳で小学校を卒業後、絵を学ぶために上京、荒木寛敏(あらかきかんべん)の門人となり、写生に基づく写実的な表現の日本画を体得していきました。

明治40(1907)年、第41回日本美術協会・正派同志会連合展で二等賞銀牌、翌年の文部省美術展覧会(文展)で初入選、以来大正5(1916)年から3年連続で文展特選となるも、同志と共に新結社を結び、文展改革の口火を切る存在となりました。(下へつづく)

大正8(1919)年、発足したばかりの帝国美術院展覧会(帝展)で無鑑査となり、名実共に日本画壇中心の一人となりました。

晩年になっても後進の指導と作品制作に力を注ぎましたが、第二次世界大戦中の昭和19(1944)年に、東京下谷の自宅で死去。

生涯を通じて、故郷伊那・高遠への愛を忘れず、学校や図書館、寺社などさまざまな施設へ作品が贈られるなど、今もこの地には多くの作品が残っています。

本年令和6(2024)年が池上秀敏生誕150年であることから、今回各地の施設が連携して企画展示を行います。

- 電車利用…… JR飯田線伊那市駅より徒歩 4分
- バス利用…… 伊那バスターミナルより徒歩 3分
- 自動車利用…… 中央道伊那インターより 15分
…… 中央道小黒川スマートインターより 10分

※お車でお越しの方へ
いなっせ駐車場など、市営駐車場をご利用の上、駐車券を創造館1階事務室までお持ちください。無料化いたします。

※ホームページは…
「伊那市公式」を検索 → www.inacity.jp

→ [伊那市の博物館・美術館・図書館](#) → [伊那市創造館](#)

